

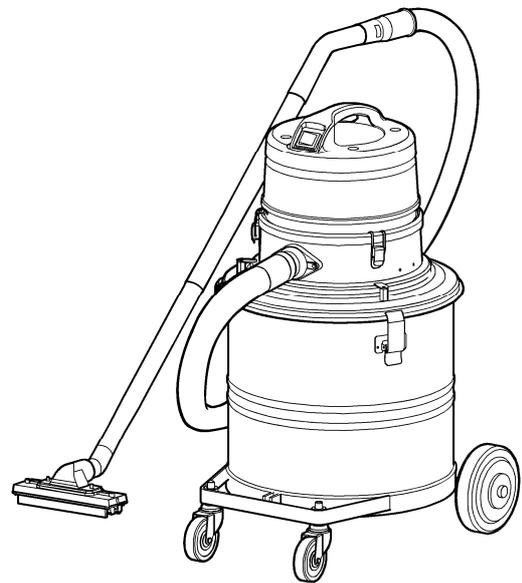
Suiden

静音設計ハイパワー・クリーナー

Gクリーン 取扱説明書

万能型	SGV-110A	吸引対象物	
	SGV-110AL	一般ゴミ	○
	SGV-110ALN	微粉じん	×
	SGV-110A-PC	水	○
		油類	○

乾式ドライ (微粉じんタイプ)	SGV-110DP	吸引対象物	
	SGV-110DPL	一般ゴミ	○
	SGV-110DP-PC	微粉じん	○
	SGV-110DPH	水	×
		油類	×



もくじ

1	安全のために必ずお守りください	1
2	仕様と付属品	5
3	各部の名称	7
4	ご使用方法	9
	1. T型ノズルの組立方法	9
	2. ホースの接続と外し方	9
	3. ノズルの接続	10
	4. 風量調節リング	10
	5. 電源コードの接続	10
	6. お掃除	10
	7. ちりおとし装置	11
	8. フロートの調整	11
	9. ゴミを捨てる(タンクの取外し方法)	11
	●SGV-Aタイプの上手なご使用方法	13
5	お手入れ	14
	1. フィルターのメンテナンス	14
	2. お手入れ	16
6	安全のための点検のお願い	17
7	こんなときは(故障かな?と思ったら)	18
8	アフターサービスと保証について	19

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。

必要ときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

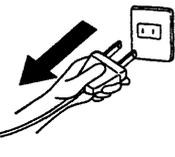
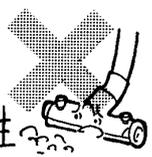
世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

本機は防爆構造ではありません

⚠ 警告

<p> ダイオキシソ類などの有害物質やアスベスト(石綿)類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性があります。</p>	<p> 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。</p>
---	---

⚠ 注意

<p> 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p> 	<p> 交流 100V 以外で使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p> <p> 火気に近づけない。 * 本機の変形により、ショートして発火することがあります。</p>
<p> 電源コード先端のアースクリップでアースする。特に、床に水気のある所では必ずアースする。 * アースしないと、感電の危険があります。</p>	<p> パイプやホースに吸引物などが詰まったり、フロートが上がって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>
<p> 運転中に吸込み口や吸気口・排気口をふさがない。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>	<p> 補助フィルターを取外した状態では、液体の吸引は絶対にしない。 * 故障や排気口からの液体噴出などを原因とする事故の原因になります。</p>
<p> スwitchの透明カバーが外れたり破れた状態で使用しない。 * スwitch内部に粉じんが侵入すると故障したり、発火に至る恐れがあります。</p>	<p> クリーナーは、電源コードやホースを引っ張って移動しない。 * 電源コードやホースが破損し、火災・感電・汚染事故の原因になります。</p>
<p> 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。</p>	<p> 浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。 * 吸気側からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。</p>
<p> 温度の高い(40℃を超える)場所で使用しない。 * 火災の原因になります。 使用雰囲気温度範囲は 0℃～40℃です。</p>	<p> 湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度 80% 以下でご使用ください。</p>
<p> 切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。 * 樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。</p>	<p> 切削油を吸引するときは成分に注意する。 * 化学変化により樹脂製部品が割れる恐れがあります。割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。</p>
<p> シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、加工直後の高温の切粉、火のついたたばこの吸いがら、熱を持った物質などは吸引しない。 * 爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。</p>	<p> セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉じん、薬品などを吸引しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p> 海水など腐食性のある液体・粉体は吸引しない。 * モータ焼損や故障、事故の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">腐食性</p>	<p> 泡立つものは吸引しない。 * 泡でフロートが正常に動作しない場合があり、オーバーフローすると排気口より泡がふれて漏電したり、着衣が汚れる恐れがあります。また、モータ故障の原因になります。</p>

*****ご存知ですか？ 粉じん爆発と静電気防止に関する豆知識*****

●危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。
- ❖ <<主な爆発性ガスの種類>>

爆発等級	発火度				
	G1	G2	G3	G4	G5
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル 1-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル	
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソブレン		
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素

<<主な爆発性および可燃性粉じんの種類>>

爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム(含脂)	亜鉛、チタン、コークス、カーボンブラック 鉄、石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖、ゴム、染料 ポリエチレン、フェノール樹脂、ココア リグニン、米ぬか、硫黄

●静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電氣的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集塵機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集塵機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。
表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。
ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したもののほど帯電は少なくなります。

<<帯電序列の例>>

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
(+)	(+)	(+)	(+)
鉛	羊毛	アスベスト	エポナイト
亜鉛	ナイロン	人毛・毛皮	ポリスチレン
アルミニウム	レーヨン	ガラス	ポリプロピレン
クローム	絹	雲母	ポリエチレン
鉄	木綿	木材	塩化ビニル
銅	麻	人の皮膚	ポリテトラフロロエチレン
ニッケル	ガラス繊維	紙	
金	アセテート	ゴム	
白金	ビニロン	セルロイド	
	ポリエステル	セロファン	
	アクリル		
	ポリ塩化ビニリテン		
(-)	(-)	(-)	(-)

2 仕様と付属品

注記

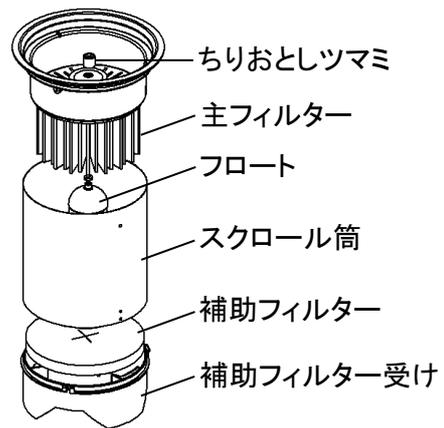
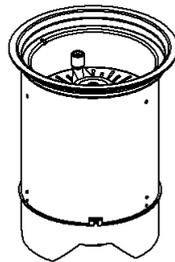
- ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
 ②タンク実容量は、粉じんと液体吸引それぞれの容量を表示しています。合計容量は吸引できません。
 ③質量には、ホース、直管パイプ1組、T型ノズルの質量を含みます。
 ④40℃を超えるものは吸引しないでください。

吸引タイプ	万能型			
品番	SGV-110A	SGV-110AL	SGV-110ALN	SGV-110A-PC
電源	100V			
消費電力	1100W			
電流	11.5A			
最大風量	2.6m ³ /min			
最大真空圧	30kPa			
騒音値	75dB			
フィルター面積	0.48m ²			
電源コード	長さ8m(アースクリップ付き)			
ホース	径φ38mm×長さ2m			
タンク名称	Gタンク	ロングGタンク	ロングGHタンク (排液ホース付き)	ペールPCセット
タンク実容量	22L(液体16L※)	44L(液体37L※)	44L(液体37L※)	12L(液体8L※)
本体寸法	幅 474mm 奥行き 520mm 高さ 764mm	幅 474mm 奥行き 600mm 高さ 963mm	幅 474mm 奥行き 600mm 高さ 963mm	幅 352mm 奥行き 374mm 高さ 713mm
質量	20.5kg (本体のみ19kg)	23kg (本体のみ21.5kg)	23.5kg (本体のみ22kg)	14.3kg (本体のみ12.8kg)

フィルターの種類

万能型Aフィルター

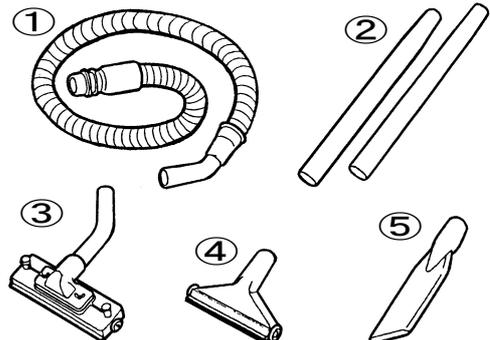
※5μm以上の粉じん吸引可能



付属品

Aタイプ付属品

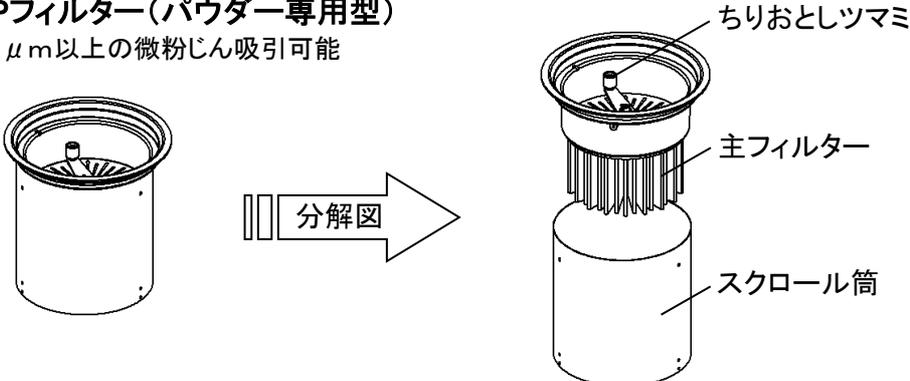
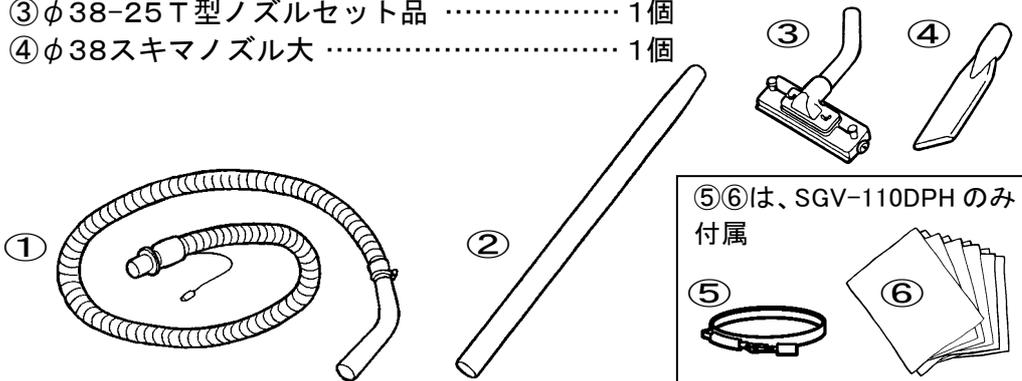
- ①φ38GLMMホース組品2m……1本
 ②φ38樹脂直管パイプ2本組……1組
 ③φ38-25T型ノズルセット品……1個
 ④φ38-20水切ノズル……1個
 ⑤φ38スキマノズル大……1個



※ () 内数値は、液体のみ吸引した場合の容量です。

注記

- ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
- ②質量には、ホース、アルミ直管パイプ、T型ノズルの質量を含みます。
- ③40℃を超えるものは吸引しないでください。

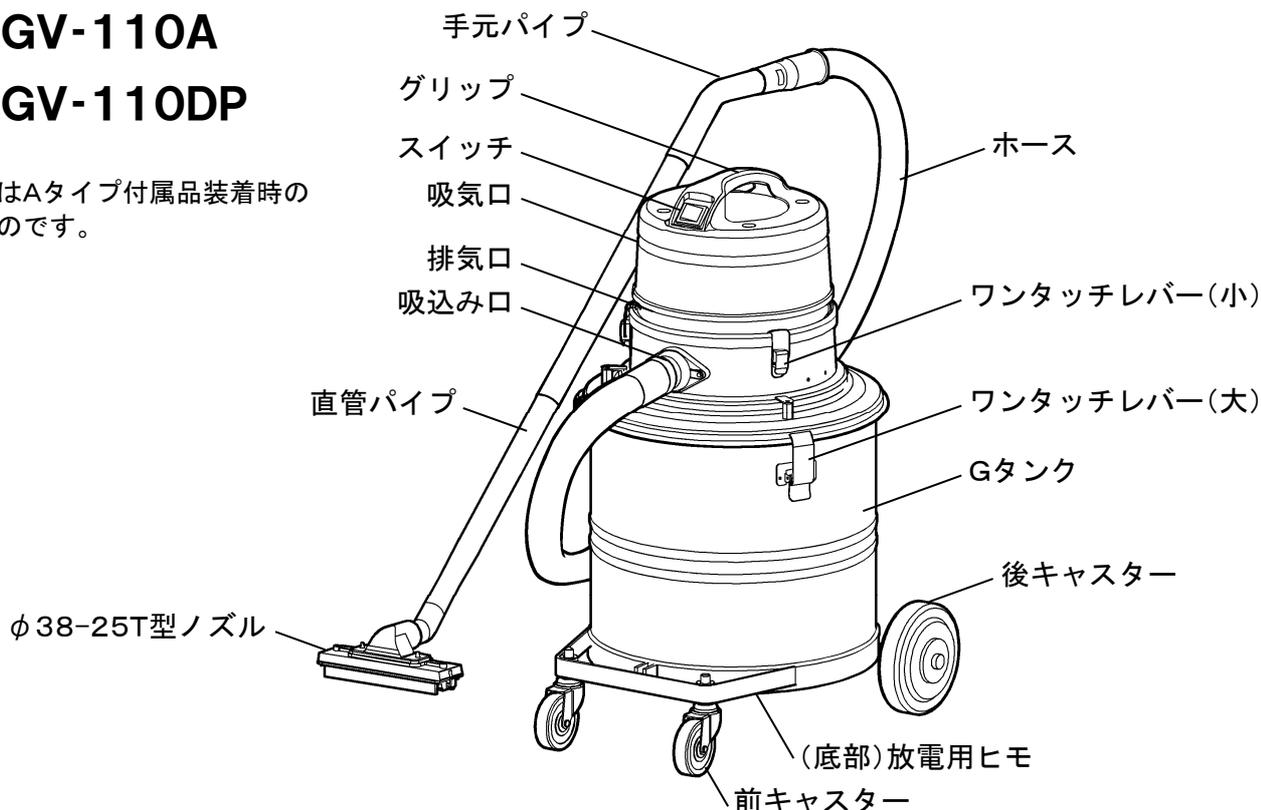
吸引タイプ	乾式ドライ (パウダー専用タイプ)			
品番	SGV-110DP	SGV-110DPL	SGV-110DP-PC	SGV-110DPH
電源	100V			
消費電力	1100W			
電流	11.5A			
最大風量	2.5m ³ /min			
最大真空圧	30kPa			
騒音値	75dB			
フィルター面積	0.48m ²			
電源コード	長さ8m(アースクリップ付き)			
ホース	径φ38mm×長さ2m			
タンク名称	Gタンク	ロングGタンク	パールPCセット	ホッパータンク
タンク実容量	22L	44L	12L	10L
本体寸法	幅 474mm 奥行き 520mm 高さ 764mm	幅 474mm 奥行き 600mm 高さ 963mm	幅 352mm 奥行き 374mm 高さ 713mm	幅 461mm 奥行き 460mm 高さ 1045mm
質量	20.5kg (本体のみ 19kg)	23kg (本体のみ 21.5kg)	14.3kg (本体のみ 12.8kg)	26kg (本体のみ 24.5kg)
フィルターの種類	<p>DPフィルター(パウダー専用型) ※2μm以上の微粉じん吸引可能</p> 			
付属品	<p>DPタイプ付属品</p> <ul style="list-style-type: none"> ①φ38静電防止用アース入りホース組品2m…1本 ②φ38アルミ直管パイプ(長さ710mm) ……1本 ③φ38-25T型ノズルセット品 ……1個 ④φ38スキマノズル大 ……1個 ⑤袋止めバンド…1個 ⑥PE袋(30L)…10枚  <p>⑤⑥は、SGV-110DPHのみ付属</p>			

3 各部の名称

SGV-110A

SGV-110DP

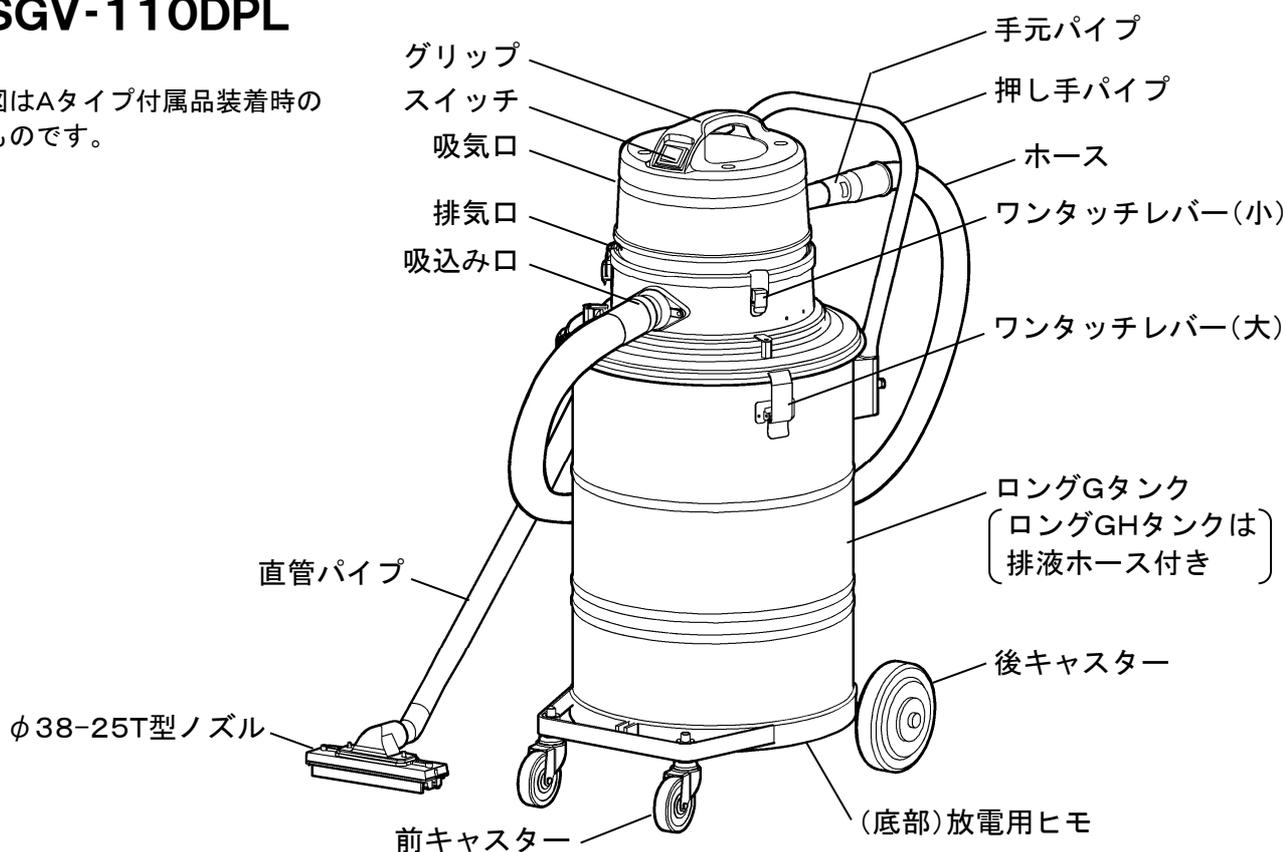
図はAタイプ付属品装着時の
ものです。



SGV-110AL/110ALN

SGV-110DPL

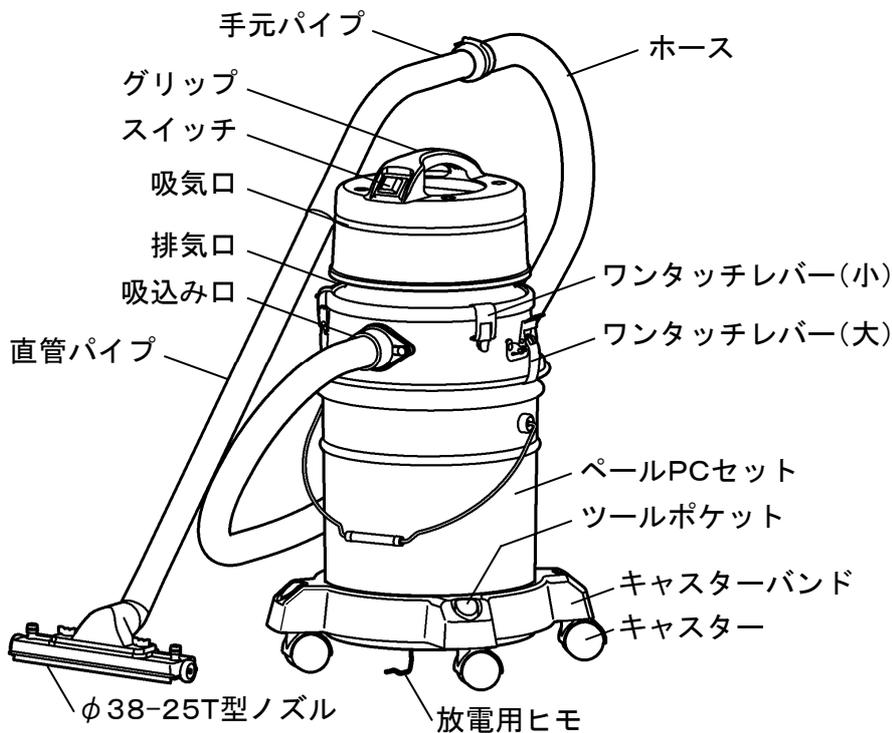
図はAタイプ付属品装着時の
ものです。



SGV-110A-PC

SGV-110DP-PC

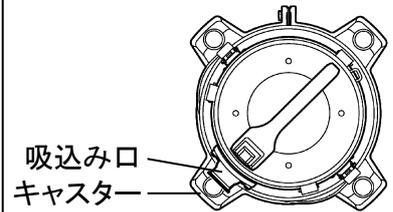
図はDPタイプ付属品装着時の
ものです。



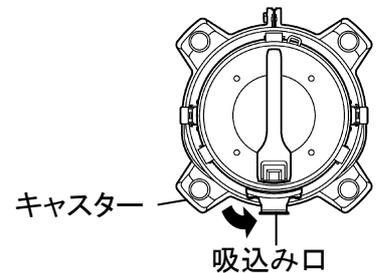
ご使用の前に

出荷時は本体上部が下図の
向きになっています。

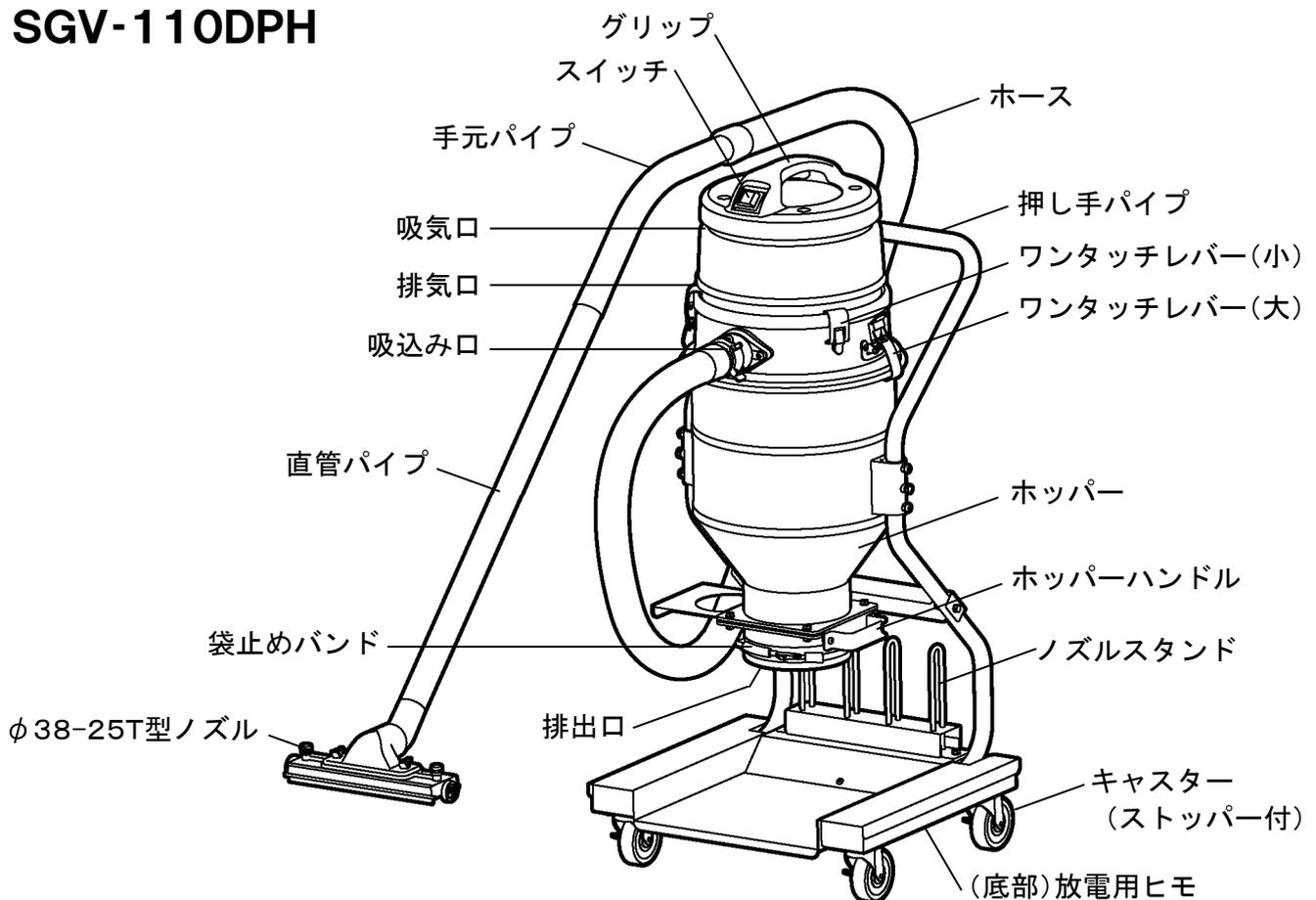
真上から見た図



ワンタッチレバー(大)を外し
て本体上部をタンクから一旦
抜き、45度回転して再度装
着してご使用ください。



SGV-110DPH



4 ご使用方法

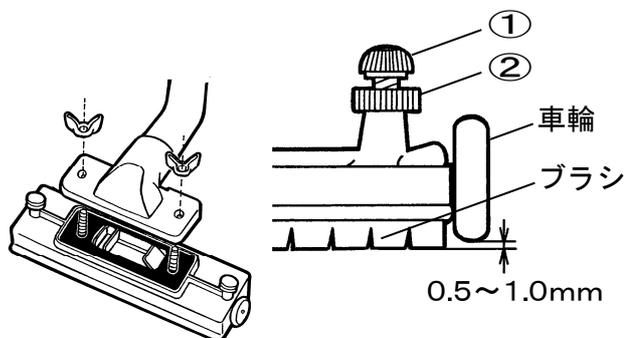
安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. T型ノズルの組立方法

右図のように組立ててください。

ノズルの組立てが終わったら②のナットをゆるめて、①のネジで車輪がブラシより0.5～1.0mm高い位置になるように車輪の高さを調整してください。最後にもう一度②のナットを締めなおします。

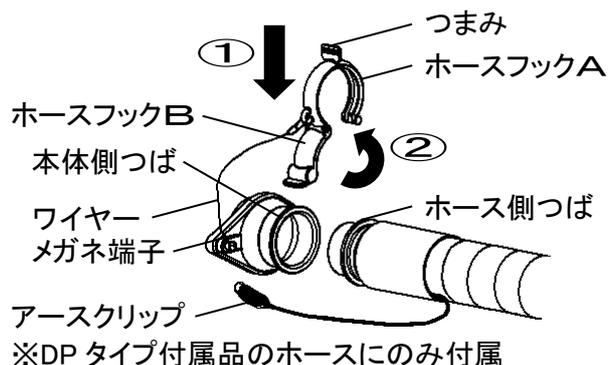
注記 床面とブラシの間隔が広すぎると吸引力の低下につながりますので、使用途中でとまるとき調整してください。



2. ホースの接続と外し方

(1) ホースの接続

- ① ホースを本体側に差込み、ホースフックAを本体側のつばとホース側のつばの両方にかぶせます。
- ② ホースフックBでロックしてください。
- ③ SGV-DPをご使用の場合
ホースから出ているアースクリップで、ワイヤー根元のメガネ端子を挟んでアースしてください。



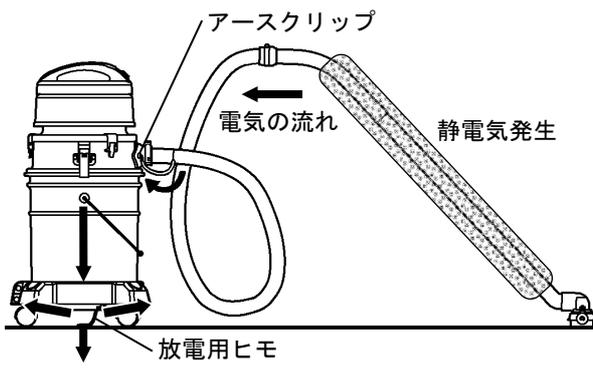
(2) ホースの外し方

- ① ホースから出ているアースクリップでアースしている機種は、クリップを外してください。
- ② ホースフックBのロックを外してください。
- ③ ホースフックAのつまみを持ち、引き上げるとホースフックが外れます。

触った時にパチッと静電気を覚めるのは帯電が原因です。帯電していなければ、触った時に静電気を覚めません。

《ご参考》 静電気除去の経路

静電気は、アースクリップを通してタンクに伝わり、放電用ヒモを経由して放電されます。静電気由来の事故防止のために、アースクリップは必ず接続してください。

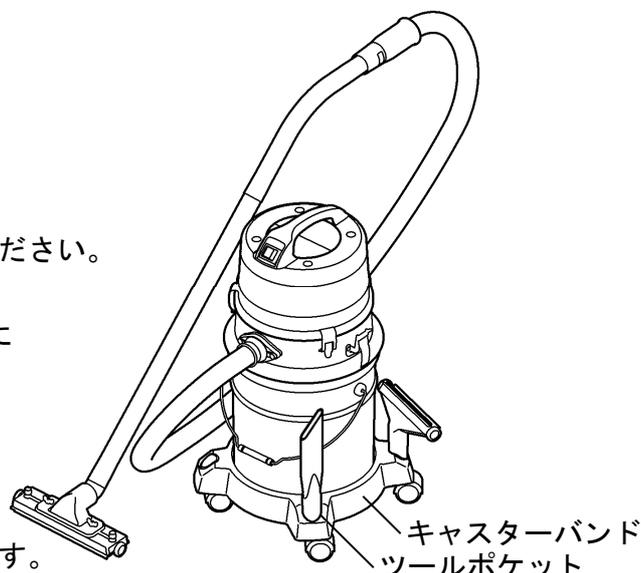


3. ノズルの接続

吸引対象物に応じて、ノズルを選択してください。
直管パイプまたはホース先端にノズルを接続してください。

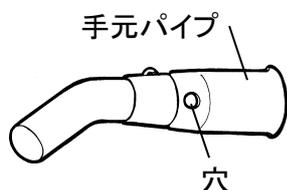
- ① φ38-25T型ノズルセット品 : 清掃全般に
- ② φ38スキマノズル大 : 隙間などの清掃に
- ③ φ38-20水切ノズル : 液体類の吸引に
(水切りノズルは、Aタイプ付属品にのみ含まれます)

SGV-110A-PC, SGV-110DP-PCには
キャスターバンドにツールポケットがあります。
使用しないノズルはツールポケットに立てておけます。

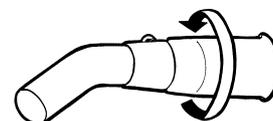


4. 風量調節リング (Aタイプ付属品のみ)

- ① 水槽などの水や油類を吸わせるときは、ホースの手元パイプにある風量調節リング下の穴を開けてご使用ください。



- ② 液体以外の通常の掃除にご使用のときは、手元パイプの風量調節リング下の穴をふさいでご使用ください。

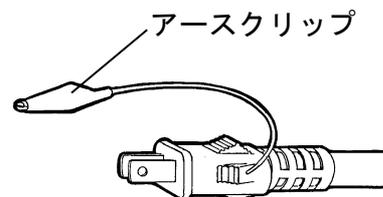


注記

- ① 液体・油類を吸引するときは、風量調節リング下の穴を必ず開けて、空気と液体・油類を同時に吸引してください。リング下の穴を閉じたままで液体・油類を吸引すると、フロート動作が遅れて、オーバーフローをする恐れがあります。
- ② DPタイプ付属品のホースには、風量調節リングはありません。
- ③ 乾式ドライ(DP)タイプで液体の吸引はできません。液体・油類は吸引しないでください。

5. 電源コードの接続

- ① 電源プラグを100Vのコンセントに差込んでください。
- ② コード先端にアースクリップが付いていますので、感電事故防止のため、必ずアースしてください。



6. お掃除

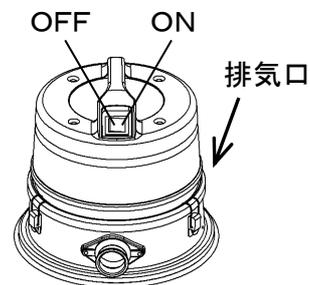
- ① クリーナーヘッド部に電源スイッチがあります。
- ② お掃除中に排気口から水滴(油滴)が霧状態で出るときは、フィルターが湿っている可能性がありますので、次の処置をしてください。

- 水滴が出たとき…何も吸引させないで、数分間のカラ運転でフィルターを乾燥させてください。

- 油滴が出たとき…フィルターを外し、洗い油などで洗った後、シンナー液で再度洗浄してください。
(万能型のみ)

洗浄後、充分乾燥させてから、クリーナーに装着してください。

- ③ フィルターのお手入れは14~15ページをご参照ください。



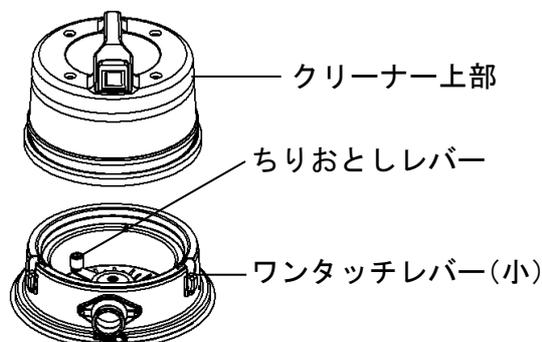
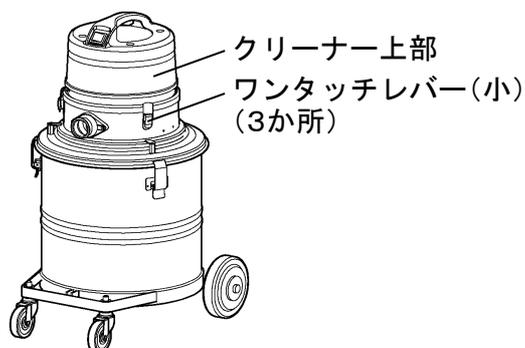
注記

- ① フィルターが濡れているときや、湿っているときは、ゴミを吸わせないでください。
※フィルター表面にゴミが付着して、吸引能力が大幅に低下する場合があります。
- ② フィルターの着脱方法は、14~15ページ「フィルターのメンテナンス」の項をご参照ください。
- ③ スwitchの透明カバーが外れたり破れたりした場合は、すぐに透明カバー付スイッチを交換してください。
スイッチ内部に粉じんが侵入することがあり、故障の原因になります。

7. ちりおとし装置

フィルターにゴミが付着すると吸引能力が低下しますので、フィルターのちりおとしをしてください。ちりおとしは、クリーナー上部を取外して行います。おそうじ作業前後のちりおとしが効果的です。

- ① ワンタッチレバー(小)を3か所外し、クリーナー上部を取外します。
- ② ちりおとしレバーを数回まわしてください。



※万能型 (SGV-110A/110AL/110ALN/110A-PC) の場合

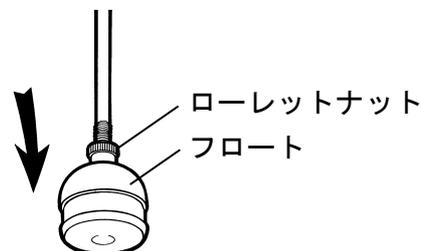
補助フィルターを装着した状態で、粉じんを吸うと、主フィルターと補助フィルターの間に粉じんがたまり、ちりおとし装置を作動させてもタンクに粉じんは落ちません。

補助フィルターを外してちりおとし装置を作動させてください。

※補助フィルターの着脱方法は13~14ページの《補助フィルターの外し方》《補助フィルターの取付け方》の項をご参照ください。

8. フロートの調整 (万能型)

- ① タンク内に一定以上の液体がたまると、オーバーフローを防止するためにフロートが上がり、吸引機能を停止します。
- ② このとき、吸引機能は停止しますが、モータは回転していますので、スイッチを《OFF》にしてください。
- ③ タンク内の液体を捨ててタンク内を空にすると、再び吸引できるようになります。
- ④ もし、タンク内の液体を処理した後も吸引しない場合は、フロートが引っ掛かっていることが考えられますので、フロートを引き降ろしてからご使用ください。



9. ゴミを捨てる (タンクの取外し方法)

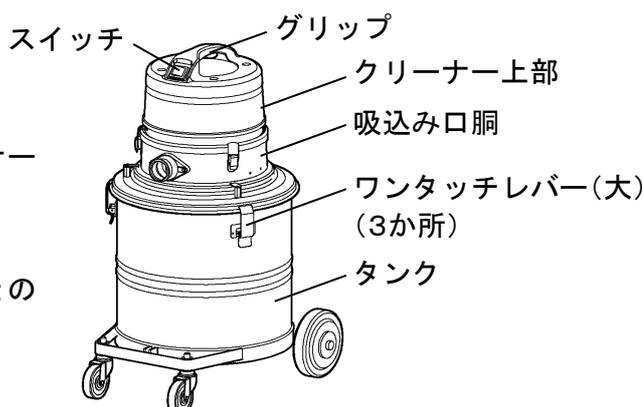
注記

① 産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。

② タンク内にゴミをためすぎると、クリーナー上部を取外したときにゴミが溢れることがあります。吸引したゴミは、適宜捨ててください。

●Gタンク/ロングGタンク

- ① ワンタッチレバー(大)を3か所外します。
- ② グリップを持って、吸込み口胴ごとクリーナー上部をタンクから引き上げてください。
- ③ タンク内のゴミを捨ててください。
- ④ クリーナー上部を装着するときは、タンクとの位置関係にご注意ください。(右図参照)



●ロングGHタンク（排液ホース付き）

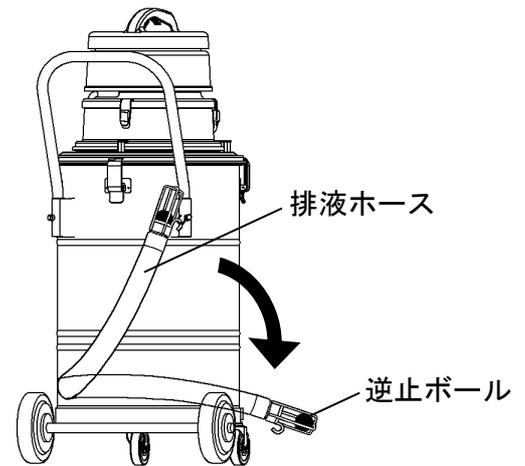
⚠ 警告



環境を汚染する廃液・廃油などは、排水溝などに直接流さない。

* 専門業者に渡して処分してください。

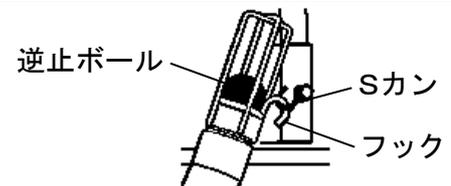
- ① タンクが満タンになりましたら、排液ホース先端のフックをSカンから外して、タンク内部の液体を捨ててください。
- ② 排水が終われば、フックを元の位置に掛けてください。その際、逆止ボールとホースの間にゴミなどが付着していないか確認してください。逆止ボールにゴミなどが付着していると内圧（負圧）により吸引の妨げになります。



注記

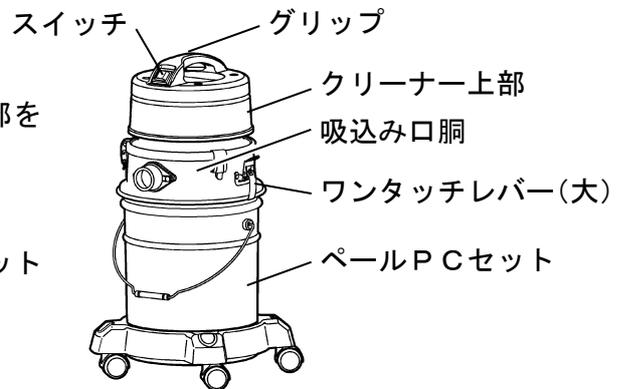
排液完了後は、必ず排液ホースのフックをSカンに引っ掛けてください。

* 排液ホースを倒したままでは、逆止ボールが元の位置に戻らず本来の吸引力が得られません。



●パールPCセット

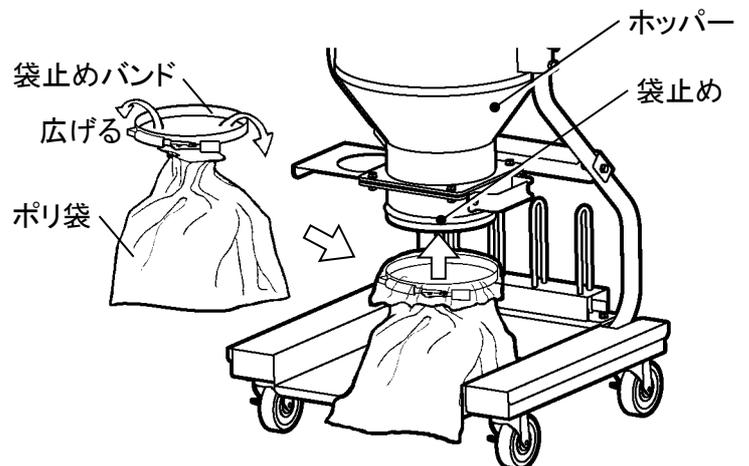
- ① ワンタッチレバー（大）を外します。
- ② グリップを持ち、吸込み口胴ごとクリーナー上部をパールPCセットから引き上げてください。
- ③ ペール缶内のゴミを捨ててください。
- ④ クリーナー上部を装着するときは、パールPCセットとの位置関係にご注意ください。（右図参照）



●ホッパータンク

(1) ポリ袋を取付ける。

- ① ホッパーに止めている袋止めバンドを外します。
- ② ポリ袋の口を絞り、袋止めバンドの内側を通してください。
- ③ 袋止めバンドに沿ってポリ袋を広げます。
- ④ ホッパー部にポリ袋をあてがい袋止めバンドで固定します。ポリ袋が外れないように袋止めの上で固定してください。



(2) 粉じんを排出する。

- ① ホッパーハンドルを引くと、ホッパー内の粉じんがポリ袋へ排出されます。
- ② 排出が終わったら、ホッパーハンドルを元の位置に戻してホッパーを閉じます。
- ③ 袋止めバンドを外し、ポリ袋をホッパー部より取り外して、粉じんを処理してください。



注記 産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。

●SGV-Aタイプの上手なご使用方法

⚠ 注意

- ⊘ 補助フィルターを取外した状態では、液体の吸引は絶対にしない。
* 故障や排気口からの液体噴出などを原因とする事故の原因になります。

注記 吸引する粉体の種類によって、直管パイプ、手元パイプ、ホースに静電気が発生することがありますが、漏電ではありません。静電気が気になる方は、ゴム手袋などをご使用ください。

★粉体または液体の専用機としての使用が効率的です。

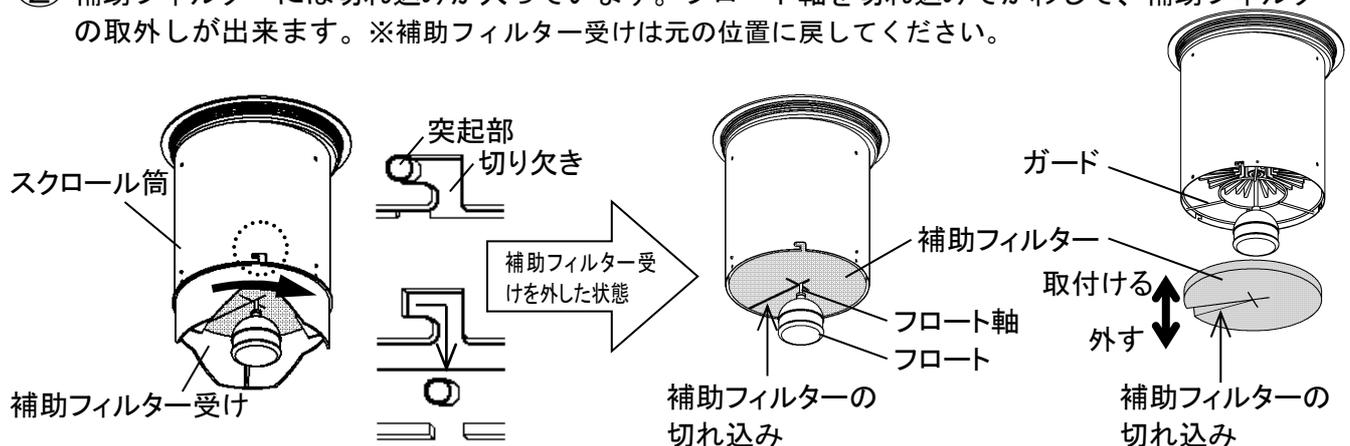
SGV-Aタイプは、粉体と液体の両方を連続して吸引できる《万能型》ですが、複数台数を使用する場合は、粉体専用機または液体専用機として使い分けの方が、より吸引能力を効率的に発揮できます。

《万能型・液体専用機》として使用する…●出荷状態(万能型の使用状態)でご使用ください。

《粉体専用機》として使用する……………●補助フィルターを取外して使用すると、より効率的な吸引効果が期待できます。
補助フィルターは保管してください。

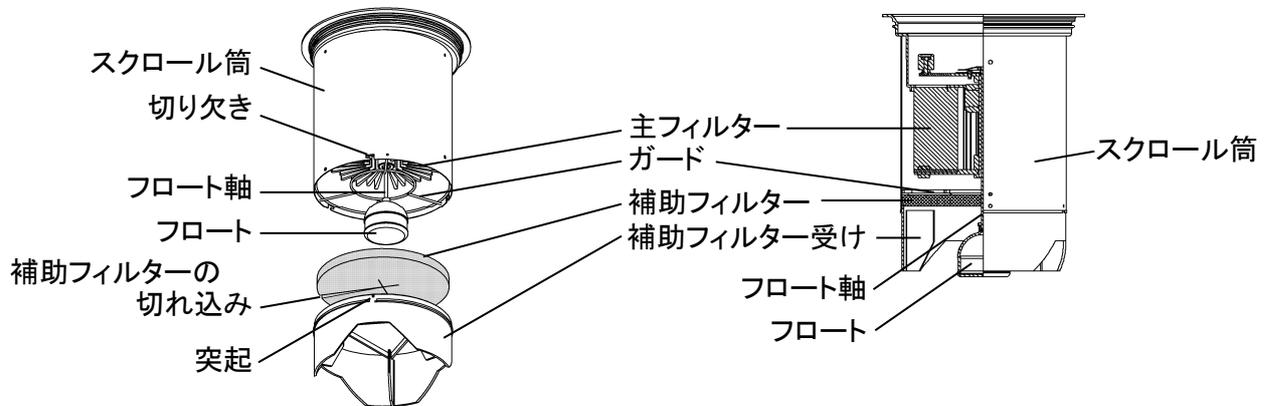
《補助フィルターの外し方》

- ① スクロール筒を動かないように固定してから、下部の補助フィルター受けを図の矢印の方向に少し回して下に引っ張ると、突起部が切り欠き部から外れて、補助フィルター受けが外れます。
- ② 補助フィルターには切れ込みが入っています。フロート軸を切れ込みでかわして、補助フィルターの取外しが出来ます。※補助フィルター受けは元の位置に戻してください。



《補助フィルターの取付け方》

- ① 補助フィルターを外した逆の手順で、スクロール筒に補助フィルターをセットします。補助フィルターは、よれや変形がない状態で、隙間なくきっちりと装着してください。
- ② 補助フィルター受けの突起部を、スクロール筒の切り欠きの奥まで確実に差込みます。



注記 ①補助フィルターを取付けるときは、隙間なくきっちりとはめてください。補助フィルターが脱落したり、隙間があると、液体吸引時に主フィルターに液体が上って故障の原因になります。
②補助フィルター受けに、衝撃や圧力を加えないでください。スクロール筒から脱落しやすくなります。

5 お手入れ

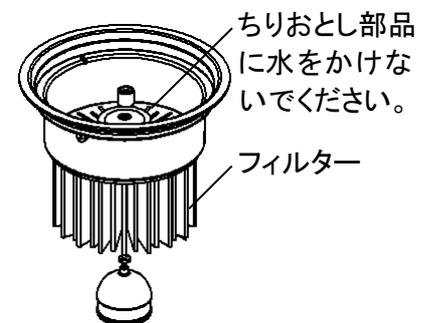
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. フィルターのメンテナンス

注記 ①ちりおとし部品は濡らさないでください。錆びたり、故障の原因になります。
②フィルターが濡れているときや、湿っているときは、ゴミを吸わせないでください。
* フィルター表面にゴミが付着して、吸引能力が大幅に低下する場合があります。

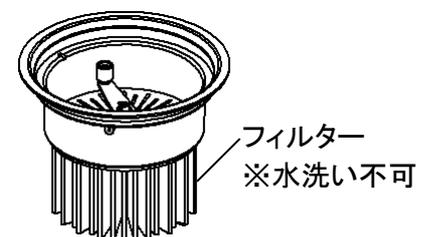
●万能型Aフィルター

- ① フィルターの目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外して、歯ブラシなどでフィルター表面に付着したゴミや汚れを取除き、洗い油などで洗った後、シンナー液で再度洗浄してください。
- ② 洗浄後、充分乾燥させてからクリーナーに装着してください。



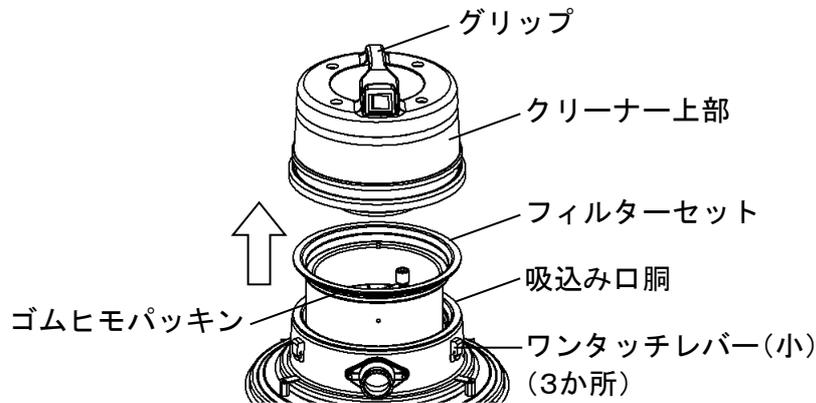
●DPフィルター（パウダー専用型）

- ① フィルターの目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外し、エアブローや、やわらかいブラシを使用してフィルター表面に付着したゴミや汚れを取除いてください。
- ② フィルターの特殊効力が失われますので、水洗いはしないでください。



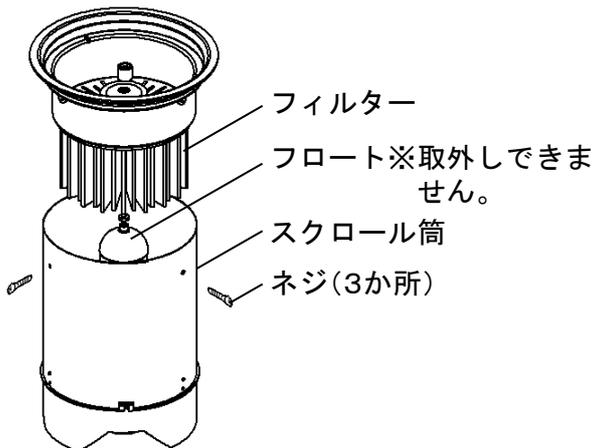
《フィルターの取外し方》

- ① クリーナー上部を外します。
ワンタッチレバー(小)3か所を外し、グリップを持ってクリーナー上部を取外してください。
- ② 吸込み口胴からフィルターセットを取出します。
※パッキンがしっかり効いていると少し外れにくい場合があります。

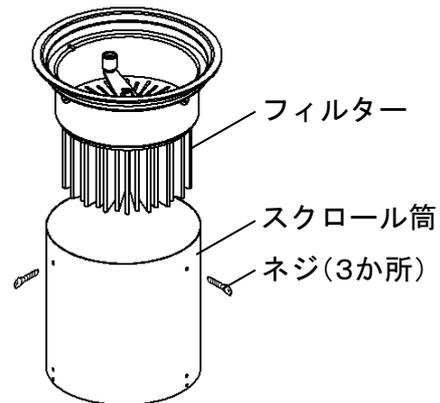


- ③ フィルターを取外します。
スクロール筒の3か所のネジをドライバーで外します。

《万能型Aフィルターの場合》

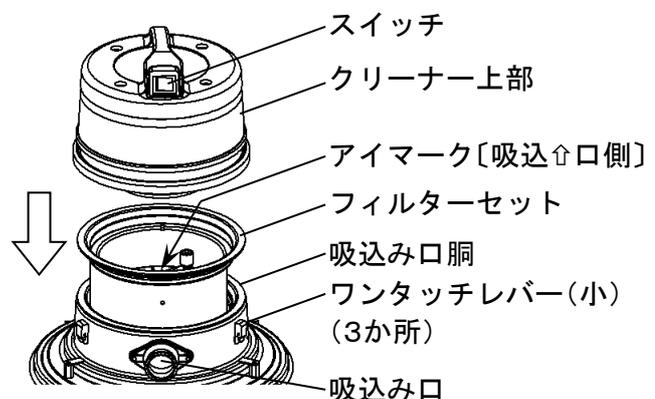


《DPフィルターの場合》



《フィルターの取付け方》

- ① フィルターをスクロール筒の中に入れて、ドライバーでネジ3か所を締めてください。
- ② 吸込み口胴にフィルターセット(スクロール筒入りフィルター)をはめ込みます。
このとき、フィルター上面のアイマーク[吸込↑口側]を吸込み口へ向けてはめ込んでください。
※位置を合わせないと、ワンタッチレバー(小)が破損する恐れがあります。
- ③ クリーナー上部をセットします。
吸込み口側にスイッチを向けてください。
- ④ ワンタッチレバー(小)3か所を締めれば完了です。



2. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。

なお、洗剤によっては樹脂部に使用できないものもありますので、ご使用洗剤の注意ラベルをご確認ください。

樹脂に使用できる洗剤でも、化学反応によりひび割れの原因になる場合がありますので、水拭きをして洗剤分を落としてください。

注記 石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

《ご参考》モータのブラシ(カーボンブラシ)交換方法

本機は整流子モータを採用しています。
モータのブラシは1回に限り交換可能です。
下図をご参照していただき、補修用ブラシであれば、再度の
ブラシ交換はお止めください。

⚠ 注 意

モータのブラシ交換は1回に限る。
* 2回目以降の交換は、モータ異常
スパークの恐れがあります。

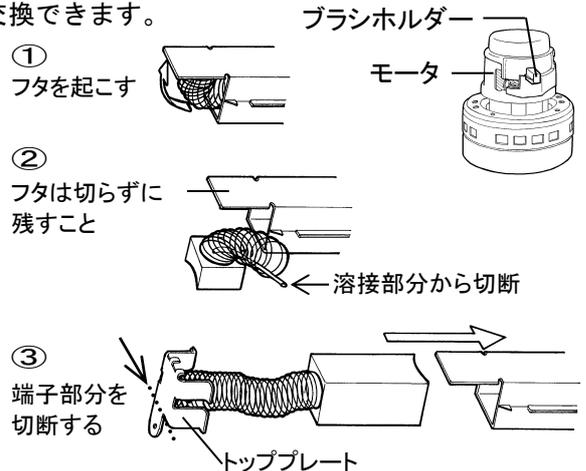


★ ブラシ交換時には必ず試運転を行い、ローターとブラシの接点から大きな火花が出ているときは、モータの寿命ですから、モータを交換してください。

注記 ①モータのブラシ交換は、電気器具の修理技術のある人が行ってください。
②本機の使用方法などにより多少の差は生じますが、使用500時間程度がブラシ交換の目安です。
残り9~10mmまで磨耗したらブラシ交換してください。新品ブラシの長さは31.5mmです。

モータのファンカバーおよびブラシホルダーを外さなくても交換できます。

- ① ブラシホルダーのフタを起こします。
- ② 起こしたフタに溶接している銅線を根元から切断し、磨耗したブラシを取り去ります。
(注)フタは切り落とさないでください。
- ③ 新しいブラシをブラシホルダーに挿入します。
トッププレートの端子部分は切断してください。
- ④ ブラシのトッププレートをブラシホルダーのフタで押さえて固定します。

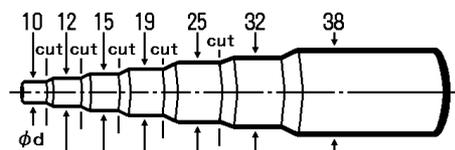


* 別売品のご案内 * * * * *

段付きノズル

使用状況に合わせて直径φdを選んで切落とし、先端にビニールホースまたはゴムホースなどを装着して、ご使用ください。

[φd=10・12・15・19・25・32・38mmのいずれか]



6 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検を行い、不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグに変形やガタはありませんか？	電源コードの交換が必要です。
アースクリップは、ガタなどがなく正常に機能していますか？	電源コードの交換が必要です。
スイッチ保護ゴムが無くなっていませんか？	スイッチの交換が必要です。
スイッチ保護ゴムが破れていませんか？	
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースを交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	フィルターを交換してください。
フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
フロートは、正しくセットされていますか？	フロートを正しくセットして、ローレットナットを締め直してください。
ローレットナットはゆるんでいませんか？	
ワンタッチレバーは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ワンタッチレバーは曲がったりひずんでいませんか？	交換が必要です。
タンクは変形していませんか？	タンクの交換が必要です。
タンク内にゴミや液体がたまっていますか？	ゴミや液体を処理してください。
クリーナー上部は正しく装着していますか？	正しくセットしてください。
キャスターが磨耗したり変形していませんか？	キャスターの交換が必要です。
各部のボルト、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に点検をご依頼ください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったら、まず下記項目をご確認ください。

症 状	調べるところ	直し方
●モーターが回転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーが落ちた原因を解消してください。
	電源コードが断線していませんか？	断線部を補修するか、電源コードの交換が必要です。
	本体内蔵のヒューズが切れていませんか？	修理技術者に連絡して、ヒューズが切れた原因を取除いた上、専用の管ヒューズを交換してください。
●吸引しない。 ●発生音が高くなった。	ゴミや液体がタンク一杯になっていませんか？	タンク内のゴミや液体を処理してください。
	モーターのカーボンブラシが減っていませんか？	カーボンブラシの交換が必要です。（16ページ参照）
	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	排液ホースが倒れたままになっていませんか？ （SGV-110ALNのみ）	排液ホースのフックを、押し手パイプのSカンに掛けてください。
	ホッパーの排出口が開いていませんか？（SGV-110DPHのみ）	ホッパーハンドルが止まるまで押し、排出口を閉じてください。
●吸引力が 急に弱くなった。	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていませんか？	ホースやパイプを交換してください。
	クリーナー上部と吸込み口胴、タンクは完全に密閉していますか？隙間ができていませんか？	クリーナー上部と吸込み口胴、タンクを正しく合わせて、ワンタッチレバー（小）・（大）で確実に固定してください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	①ちりおとし装置でフィルターのホコリを落としてください。 ②汚れがひどい場合は、フィルターを掃除してください。（13～15ページ参照）
	補助フィルターが目詰まりしていませんか？（SGV-Aタイプのみ）	補助フィルターを外して、水洗いしてください。（15ページ参照）
	モーターが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモーターを交換、または故障原因を取除いてください。
フィルター交換後、モーターは回転するが吸引しなくなった	モーター下部のパッキンとゴムヒモパッキンが正しく装着されていますか？	正しく装着してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対に行わないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

8 アフターサービスと保証について

⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。(日本国内でご使用の場合に限ります。)
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



★長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	お買い上げ年月日
	年 月 日
所在地	TEL
	FAX

《製品の廃棄について》 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン**

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>